

News Release

倉敷製造所およびレヂノルーフテック社での 太陽光発電設備稼働について

JFE 鋼板株式会社（代表取締役社長：高橋 学）は、カーボンニュートラルに向けた取り組みの一環として、倉敷製造所（岡山県倉敷市）敷地内に太陽光発電設備を導入し、2026 年 5 月より設備を稼働させ、発電電力の自家消費を開始しました。

また、当社の関係会社 レヂノルーフテック株式会社（代表取締役社長：江森 邦夫）においても、本社(千葉県山武市) 敷地内にある工場屋根に太陽光発電設備を設置・稼働させ、同月より自家消費を開始しています。

当社は、2050 年カーボンニュートラルの実現に向け、製造所場内への太陽光発電装置の導入を推進するとともに、省資源・省エネルギー活動、環境配慮型商品の開発・普及を進めています。

今回の取り組みは、当社「第 8 次中期計画」で掲げた計画案件の着実な推進事例であり、再生可能エネルギーの活用を通じて、事業活動に伴う CO₂ 排出量の削減と環境負荷低減を図るものです。

① 倉敷製造所 太陽光発電設備の概要

倉敷製造所では、既に稼働を開始した A・B 地区の設備に加え、今後の計画として C 地区への設置も進める予定です。C 地区を含めた設備容量は合計 1,102kW、年間 CO₂ 削減効果は約 800t を見込んでおり、発電した電力は工場内で自家消費する計画です。

	A・B 地区（稼働開始済）	C 地区（計画）	合計
発電開始	2026 年 5 月	2027 年 5 月稼働（予定）	-
設備容量	456kW	646kW	1,102kW
年間 CO ₂ 削減効果	約 300t	約 500t	約 800t
電力利用	事務所・工場で自家消費	同左（予定）	

② レヂノルーフテック社太陽光発電設備の概要

レヂノルーフテック社では、2026 年 5 月より太陽光発電の稼働を開始しました。
設備容量は 344kW、年間 CO₂ 削減効果は約 100t を見込んでおります。
発電した電力は、事務所・工場内で自家消費する計画です。

	本社敷地内 工場屋根
発電開始	2026 年 5 月
設備容量	344 kW
年間 CO ₂ 削減効果	約 100t
電力利用	事務所・工場で自家消費

当社は、今後も製造拠点および関係会社を含めたグループ一体の環境保全活動を推進し、再生可能エネルギーの活用、省エネルギー、生産プロセス改善、環境配慮型商品の開発・普及を通じて、持続可能な社会の実現に引き続き貢献してまいります。

以上

【関連 URL】

- ・ JFE 鋼板 カーボンニュートラル取組みについて
<https://www.jfe-kouhan.co.jp/company/carbon.html>
- ・ レヂノルーフテック 会社概要について
<http://www.resino-rooftec.co.jp/profile.php>

本件に関するお問い合わせ先：JFE 鋼板株式会社 総務部（広報担当） TEL：03-3493-1417

【倉敷製造所(事務所前) 太陽光発電設備】



【レチノーフテック 太陽光発電設備】

